

2021年度 SAプログラム説明会

単位認定について

●**夏期 SA** は、海外英語演習として、留学先から送付された成績証明書や出席証明書、留学期間中に現地から提出する英語レポート、帰国報告時のプレゼンテーション、面接を参考にして単位を**4単位**付与します。

●**長期のフォントボン大学・UCD・ヴィクトリア大学**での修得単位は、夏期 SA とは違い、単位認定方式です。現地で修得した科目は、法政大学英文学科の内容の近い専門科目に読み替えます。基本的には「選択必修 B」に読み替えます。

読み替えられる単位は**22単位まで**です。ただし、現地での修得単位はあてにしないでください。英語での授業なので、当然、難しいです。かなり落とす学生が毎年おります。現地で単位を落としても大丈夫なように日本にいる時は科目をよく考えて、多めに履修し、落とさないように頑張ってください。

UCD・ヴィクトリア大学は語学スクールに通っていただきます。フォントボン大学では、ESL 科目と現地の大学生が受けている正規科目の授業を、受講することができます。正規科目は現地の大学生と混ざって自分の実力を試したり、伸ばしたりしたい方にはぜひ挑戦していただきたい授業ですが、当然ネイティブイングリッシュですから、難しいです。こういった挑戦を出来るゆとりを残すためにも、日本での大学の勉強はしっかりしてくださいね。

【細かい履修のことですが、特に **1・2 年生**に大事なことをお話します】

特に **1・2 年生は必修諸語、体育の履修に注意**。秋学期は日本にいませんので、秋学期科目は受けられません。次年度に取ることになります。体育は落とさないこと。

もし、**2年生の秋学期**に SA プログラムへの参加が希望の方がいましたら、そう言った方へ特別に**3年の春学期**に語学を履修することができます。でも、1 回だけのチャンスでは不安だという声もありますので、3年の秋学期にラストチャンスで2年の秋学期の必修の語学を履修することができます。安心してください。

【残念ながら SA に参加できなくなった時のためのお話です】

●以前、具合が悪くなって残念ながら SA に参加できなくなってしまった方がいました。そういった万が一のために履修登録は**通年分**してください。秋学期および通年科目は、出国後文学部担当で削除します。**E 評価がつくことはありません。**

【教職免許状取得をお考えの方へのお話です】

●教職免許状取得をお考えの方、**SA 先で修得した科目は教職に使用不可**です。法政大学英文学科での履修単位のみで免許が取得可能な履修をよく考えてください。

【単位認定の流れをお話します】

現地での登録科目が決まったら詳細を教えてください→現地での登録科目の変更が生じたら随時メールで送っていただく。

これは事務処理が発生します。海外と日本の間でメールをやりとりするなど、面倒なことでもきちんとこなしていただかないと成績がつかないことがあります。

●**SA に行っても、法政の学費はかかります。**ただし、奨学金を給付しますが、金額は年度によって変動します。

●最後に当たり前のことですが勉強しに行くので課題など大変なことがあります。また、フォントボンでは留学生だからと特別扱いされません。留学生向けではないからといって学生全員が参加するイベントに参加しないことがないようにして下さい。

以上